

# GS・日本株ファンド『愛称：牛若丸』



格付：**B+3**



日本の上場株式に投資を行う投資信託です。

属性 **投資信託**

対象 **日本の上場株式**

利回り **-3.41%**

## 概要

直接企業訪問を行い、成長性、経営陣の質、株価水準の主に3つの視点から長期的視野で銘柄選択を行った日本の上場株式に投資し、信託財産の長期的な成長を目指す。12月決算。

## リスク

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	—
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元： ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

Web: <http://www.daiwasbi.co.jp/index.html>

所在地： 東京都港区六本木6-10-1

六本木ヒルズ森タワー

## Summary

2月の国内株式市場（TOPIX）は前月末から3.73%下落し、1,768.24ポイントで終了。業種別の騰落率では、精密機器、医薬品、その他製品などが上位となった一方、海運業、ゴム製品、鉱業などが下位となった。安倍政権と日銀の金融緩和を中心とした一連の政策などにより、日本経済はデフレを脱却し、リフレーション（デフレにより停滞している経済の回復）に向かっており、経済全体の拡大による恩恵を受けて、中長期的には企業収益は増大すると予想。企業における人件費や物流コストや地政学リスクの高まりなどが懸念材料としてあるものの、日本経済のファンダメンタルズ（経済の基礎的諸条件）は好調に推移していると考えられ、企業の生産活動などの景気指標において、新興国、先進国ともに輸出を中心とした経済環境の改善が見られている。今後は、独自要因により持続的な成長が期待できる銘柄、株主価値の向上を目指した変革が期待される銘柄、労働力不足の解消を目的とした設備投資や世界的な景気回復の恩恵が期待できる設備投資関連銘柄、業績の上方修正が期待できる銘柄などに着目して、企業業績の動向を注視しつつ銘柄を選別する方針としている。これらを鑑み、リターン面を「B+」、リスクを「3」と判断する。

## 設定来基準価額推移



Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。